

# 経営者のための人財育成通信

人間関係を円滑にするタイプ別コミュニケーション術

vol.12

※人材を財産と捉える意図により「人財」と表記しています。



## ■人と場面に応じた コミュニケーションを

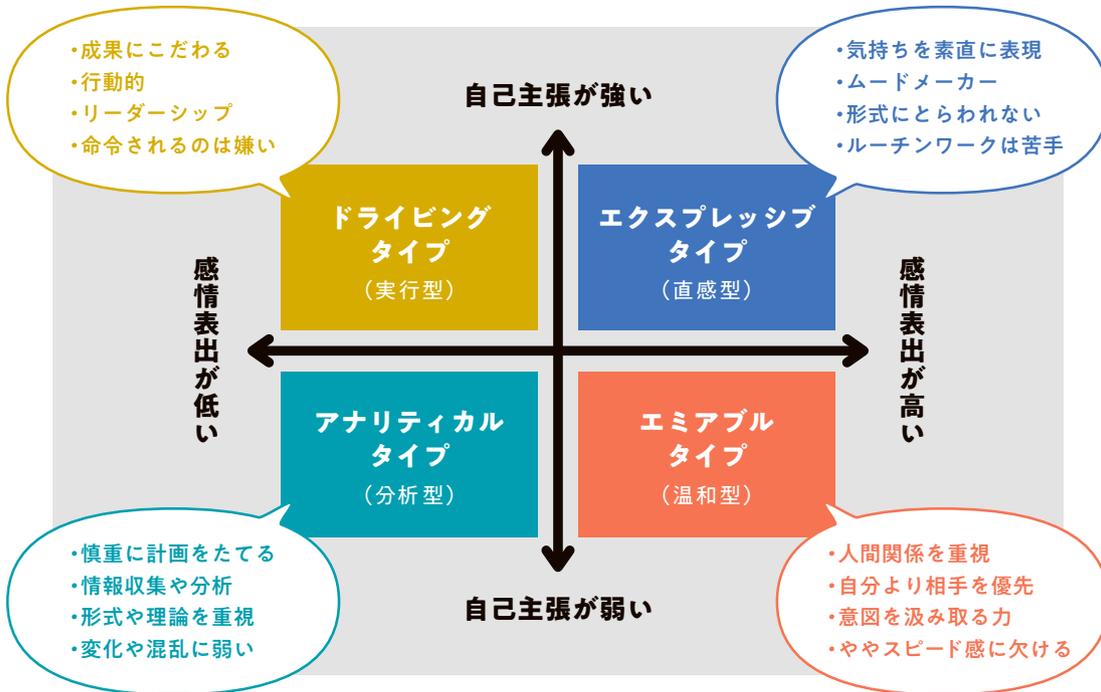
会社や学校、家族や友人との付き合い等、私たちの生活は人と人との関係で成り立っています。皆さんは普段、人間関係を円滑にするために、何か工夫していることはありませんか？

「人を見て態度を変える」というと、ネガティブな印象を持つ方もいるかもしれませんが、しかし、「あの人には結論から先に伝えよう」「この人には丁寧な説明が必要だ」等、私たちは無意識に相手に合わせたコミュニケーションを取っているのではないのでしょうか。

実は、こうした個人のコミュニケーションスタイルや行動特性を分析し、人間関係をより良くするための研究が進んでいます。

## ソーシャルスタイル理論：4つのタイプ

今回は、「感情表出」と「自己主張」の2軸でタイプ进行分类する「ソーシャルスタイル理論」を紹介します。感情表出と自己主張の傾向を組み合わせることで、人は4つのタイプに分類されます(下図参照)。



## ■ソーシャルスタイル理論活用のポイント

一つ目は「己を知り、彼を知る」です。まずは、ソーシャルスタイル理論を通して自身のタイプを客観的に理解しましょう。自分のコミュニケーションの特徴や癖に気づくことが重要です。次に、相手のタイプを見極め、その特性に合わせたコミュニケーションを心がけましょう。

二つ目は、4つのタイプに優劣はなく、あくまでも円滑なコミュニケーションのためのツールであることを理解することです。タイプ分けは、相手を決めつけるためのものではなく、相互理解を深めるためのものです。ソーシャルスタイル理論は、取引先との交渉はもちろん、従業員や関係者とのコミュニケーション等、さまざまな場面で活用できます。ぜひ、この機会に自身のコミュニケーションを見つめ直し、より良い人間関係を築きましよう。

今回は

次世代女性リーダー育成

をご紹介します

京都商工会議所では人材育成に関するご相談や各社の経営課題に寄り添った研修プランのご提案を行っております。ぜひご利用ください。

【お問い合わせ】 会員部 研修事業課(京商ビジネススクール事務局)

☎ 075-341-9762 ✉ jinzai@kyo.or.jp <https://www.kyo.or.jp/jinzai/>

